

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組
使用教科書：（ 数研出版 言語文化 ）
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	説話／児のそら寝（宇治拾遺物語） 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用			○	【知識・技能】 歴史的仮名遣いについて十分理解し、辞書などを引きながら自ら進んで古語を学習することができる。 【思考・判断・表現】 主語の変わり目を正確にとらえ、児が寝たふりをした理由と僧たちの心情について根拠をもって理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら進んで粘り強く根拠立てて内容や心情の説明に取り組んでいる。	◎	○	○	4
	随筆（一）つれづれなるままに・神無月のころ（徒然草） 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用			○	【知識・技能】 助動詞について十分理解し、辞書などを引きながら自ら進んで学習することができる。 【思考・判断・表現】 序段と第十一段を正確に現代語訳し、文章の構成について理解し、第三者に伝わるかたちで整理できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもち考えを整理しながら粘り強く読解に取り組んでいる。	◎	○	○	4
	歌物語／芥川（伊勢物語） 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・粘り強く第一段落と第二段落の関係性を見極め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用			○ ○	【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 第二段落と第一段落の関係性を捉え、第二段落があることの効果を理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって段落構成を分析し、他者と協調しながら粘り強く話し合いができている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
1 学 期	物語／なよ竹のかぐや姫（竹取物語） 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・平安時代の成人の儀式について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用			○	【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 平安時代の儀式について理解を深めつつ、かぐや姫と竹取の翁の人物造型をわかりやすく説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって粘り強く調べ学習に取り組んでいる。	◎	○	○	4

随筆(口)／春はあけぼの(枕草子) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・句読点の違いによる解釈の差異について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○	○	【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 教科書本文を正確に通訳したうえで、句読点の配置によって文意が変わることを理解し、異なる解釈の可能性について明確に説明することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって周囲と協調しながら粘り強く話し合いに取り組んでいる。	○	○	○	4
和歌／万葉集 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○	○	【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら和歌を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 和歌修辭を十分理解し、それぞれの歌に込められた心情や主題について明確に説明することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら進んで興味を持ちながら粘り強く和歌解釈ができている。	○	○	○	4
定期考査					○	○		1
日記文学／門出(土佐日記) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	○		【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 本文中に見られる古典常識について現代の名残とともに深く理解し、本文の読解に役立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】	◎	○	○	4
軍記物語／祇園精舎(平家物語) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・積極的に本文の表現について分析し、学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 和漢混交文の表現の特徴を正確に指摘し、その効果を説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって表現を分析し、他者にわかりやすく説明ができている。	◎	○	○	4
俳諧紀行／序・平泉(おくのほそ道) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。向かう力、人間性等】	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・改作前後の句について粘り強く比較し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳できている。 【思考・判断・表現】 本文中の句について正確に解釈したうえで、改作前の初案との内容の差をわかりやすく説明し、改作の動機を推測できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって両句の違いを分析し、他者と協調しながら話し合いができている。	◎	○	○	4
定期考査					○	○		1

2 学 期	「故事」（ズームアップ 故事成語の用例を探そう） 【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】漢文に由来する故事成語が現代の日本語として用いられていることについて、具体例をもとに理解できている。 【思考・判断・表現】現在用いられる故事成語の多くが漢文に由来することを踏まえたうえで、故事成語の成り立ちを踏まえた意味を説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体性をもって粘り強く課題に取り組んでいる。	◎	○	○	5
	「史伝」（管鮑之交） 【知識及び技能】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】諸子百家が活躍した歴史的背景を理解できている。 【思考・判断・表現】戦国時代の歴史的背景を踏まえた上で、郭隗が賢者を招こうとした経緯を推察し、説明することができるできている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体性をもって粘り強く課題に取り組んでいる。	◎	○	○	4
	「漢詩」（中国の詩） 【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深める	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	○		【知識・技能】「人間」「故人」などの語が日本語と漢文で異なる意味をもつことについて、双方の意味の違いを説明できている。 【思考・判断・表現】「静夜思」「月夜」「八月十五日夜……」に共通してみられる「月が空間を超えて人を結ぶ」というモチーフについて、説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体性をもって粘り強く課題に取り組んでいる。	◎	○	○	4
	定期考査					○	○		1
3 学 期	「思想」（探究の扉 漢文の注釈） 【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・教材本文の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	○		【知識・技能】日本でも古くから漢文の注釈が書かれてきたことについて、理解できている。 【思考・判断・表現】複数の解釈を比較検討した上で、教材本文の解釈を自分なりに構築できている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体性をもって粘り強く課題に取り組んでいる。	◎	○	○	5
	「文章」（ズームアップ 科挙） 【知識及び技能】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・唐代中国の官吏登用制や兵制を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】隋・唐以降の中国の文人たちが多く科挙を経て文学作品を著してきたことについて、理解できている。 【思考・判断・表現】「雑説」が書かれた動機について、唐代中国の歴史的背景を踏まえた上で自分なりの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】主体性をもって粘り強く課題に取り組んでいる。	◎	○	○	5
	近代小説(三)／山月記 【知識及び技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。 ・教科書、プリント、ICTの活用	○		【知識・技能】作品のストーリーを文脈の中で正確に理解することができる。 【思考・判断・表現】作品の展開を踏まえ、人間が虎になるという設定がもたらす効果について、十分に理解を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】主体性をもって粘り強く根拠立てて物語設定の考察に取り組んでいる。	◎	○	○	10
定期考査						○	○		1
合計 7									